

お元気でですか

三菱樹脂OB会だより第十八号

OB会総会報告

平成二十年五月二十三日(金)
長浜工場

総会 出席者九十五名
司会進行 岩田常任幹事

一、鳥居会長挨拶



今年、ここ長浜工場において、総会を開催いたしましたところ、九五名の会員のご参加を賜り、ありがとうございます。

午前中には、有志のボランティアガイドにより、二二名の方が湖北の竹生島を観光されました。さて、三菱樹脂は四月一日より、三菱化学ポリエステルフィルム、三菱化学産資、三菱化学エムケーヴィイ、三菱化学の機能製品分野を含め、新三菱樹脂としてスタートしました。

本社は、丸の内の三菱ビルから日本橋に移りましたが、三菱樹脂ビルとして統合された姿となりました。資本金一億五千万円、従業員数約六八〇〇名で、五つの事業部門、一七の営業拠点、

一二の生産拠点を持つ大社になりました。今後の、益々の発展を祈念いたします。

また、長浜工場の創立時の南工場の跡地には、このような立派な商品開発研究所が建ち、まことに心強い次第です。

新三菱樹脂になりましたが、OB会の今後の運営につきましては、今しばらくは従来どおりで参りたいと思っております。

なお、原田浩次さんには、OB会幹事として、八年間の長きに亘りOB会の発展にご尽力願うてきまして、大変感謝を申し上げますが、今総会にて退任されることになり、その後任には佐藤 勇さんをお願いすることと致しましたので、後刻、ご承認のほどお願い申し上げます。

結びに、本総会にあたり、三菱樹脂社ならびに関係会社各位より、ご祝儀を頂戴しましたことをご報告し、各社に厚くお礼申し上げます。

二、会務報告 岩田常任幹事

(1)物故会員報告。昨年度は十四名の物故者がおられ、その御霊に全員で黙祷し、ご冥福をお祈りした。

(2)傘寿お祝い贈呈報告。三名の方にお祝いを贈呈した。総会ご出席の立石堯氏に全員拍手をまつてお祝いの意を表した。



(3)会員現勢報告。平成二十年三月末現在会員総数は六四一名、内新入会員二八名。

(4)平成十九年度OB会決算報告。平成十九年度定期総会収支決算報告。OB会基金決算および予算報告。平成二十年度OB会予算説明。

(5)谷口会計監事から監査報告。顧問に就任。原田浩次氏が幹事を退任され、代わって佐藤勇氏が幹事に就任された。

(7)前記の決算、予算、役員改選の諸議案について出席者全員異議無くご承認を得た。

三、三菱樹脂経営状況説明

総会終了後、中村長浜工場長

から、新三菱樹脂社の会社概況、企業理念・企業ビジョン、経営方針、経営重点課題、中期経営計画などについて、詳細な説明があった。

懇親会(北びわこホテル)

出席者九十六名
司会進行 森川長浜支部長
開会挨拶 鳥居会長

吉田宏社長「挨拶」

四月に社長を拝命しました吉田でございます。

まずは、今日、私どもをお招きいただきましたことを、厚くお礼申し上げます。

そして、OB会の皆様には、昨年平塚で、ちょうど一年前にお目にかかりました方がたくさんいらつしやいますが、元気な皆様のお顔を拝見して、非常にうれしく思います。

四月一日に、本社で、新社発足会なるものをやりました。そこで、キーワードとしていろんなことを申し上げました。

OB総会後、中村長浜工場長から、詳細な説明があったと思いますが、中村工場長が言わな



かったであろうことを、一つだけ申し上げますと、顧客の皆さ

んが、おそらく心配されることがあるだろうと。旧三菱樹脂から、規模がおよそ倍になったわけですが、お客様の皆様は心配されることは、会社が大きくなったために、動きが遅くなって、サービスも、それから、いろんな開発もスピードが鈍るのではないかと、「意思決定」もですね。やっぱり、それが一番懸念されるのではないかと私自身も思っておりますので、発足会では、「とにかくスピードデー」と、社内で皆さんにお約束をしました。そのためには、権限委譲も必要でしょうし、後は、鳥居OB会長も言われたように、コミュニケーションをやる、コミュニケーションとノミコミュニケーションで、常日頃からいい環境を作っておけば「スピード、意思決定も早くできるし、お互いの考えていることもよくわかる」、そんなことを申し上げました。もう一つは、「失敗することをおそれないでチャレンジしてください。少々の失敗は許容します」とまで、言ってしまうので、後でいろいろひんしゅくを買いました。言うのはいいいけれど、失敗だらけだったら、どうするのかわれませんでした。私自身も、三十数年の間にだいぶ失敗もしてきました。ただ、「そこから得るものを必ず得て、チャレンジする精神を忘れない。」ということをやってきましたし、皆さんにもそういうこととお願ひしたいと思います。数字的には、三菱ケミカルホールディングスの完全子会社に

なりましたので、かなり厳しいミッションをいただいております。五年後には、売上高五千億円、利益は五百億円、これをコミットすると、言われております。

これは大変なことでございます。足元を考えますと、目がくらむようなアゲインストが吹いておりますが、それでも、目標・スローガンに掲げましたように、「融和・結束」、そして「発展・加速を」という合言葉で、頑張っていきたいと考えております。

どうか、諸先輩の皆様方の、変らぬご厚情を賜りたいと思っております。

乾杯・懇談

最長老の加藤敏雄氏のご発声で乾杯し、懇談に移った。



中締

青山敏雄氏のご発声により、三三七拍子でお開きとなった。

総会&OB懇親会出席者

(百二名)

(会社) 吉田宏社長、中西英二常務、中村健次長浜工場長、小花秀一長浜工場総務部長
(本部) 鳥居正義会長、高橋義衛顧問、宮部義一顧問、菅澤武彦顧問、神尾章顧問、井伊國裕、井東政蔵、岩田幸三、大庭忠利、加藤進、坂本堅一、佐藤昌二、谷口勝利、徳光文穂、野中矩仁、原田浩次、平松久、平盛秀正、藤井正敬、藤原志朗、宮下和久、村田謙四郎、山口一、山本猛、山谷章浩

(長浜) 青山敏雄、磯田智、井上豪、岩根信次、氏原建二、大竹欣祐、大辻一紘、大西義夫、大村元孝、尾本光弘、梶道信、金澤淳三、神部勇作、北川久男、北村征美、木下勝康、草野政蔵、草野康雄、雲出誠一、後藤健二、小林一好、佐伯清忠、品川泰之、清水博、下田篤生、高山栄司、立石亮、立見安弘、田辺太美雄、堤賢三、外海金太郎、富岡秀雄、中嶋清、中村利之、中山勉、西川多気夫、西堀和弥、野田和久、野呂忠章、橋本健、橋本泰典、広瀬毅、広瀬洋造、福原清、藤居勇治郎、藤田稔、溝口厚雄、宮澤勉、武藤實、森川栄壽、森隆男、山田孝夫、世森幹治
(大阪) 岡本益弘、奥田公具、加藤敏雄、西本郁夫、平井穰、福井久、宮本二四彦、山口滋、山本功
(名古屋) 伊藤壽、高橋恭明、谷口厚生、中島次郎、速水幹男、岡山普薫、森田明
(九州) 川野秀正、菊浪義信、柴田壽一、相馬義一

竹生島観光

参加者二十二名 井伊国裕、磯田智、加藤進、金澤淳三、川野秀正、神尾章、菊浪義信、後藤健二、下田篤生、富岡秀雄、中島清、西本郁夫、原田浩次、平松久、藤井正敬、藤田稔、藤原志朗、平井謙、岡山普薫、山本猛、同夫人、世森幹治

長浜支部のガイド三名の案内で、古来より信仰の島として多くの貴族・武人にも崇められた竹生島を観光した。

十時十五分、長浜港を出港、天気も良く波もない湖面を静かにクルーズし、竹生島へ。



下船後、拝観入り口にて記念撮影。一六五段の階段を上り朱塗りの弁天堂を参拝。

この弁財天は、安芸の厳島、相模の江ノ島と共に日本三弁財天に数えられている。

宝物殿、三重塔を経て、西国三十三観音霊場「宝厳寺」へ。京都の「豊国廟」を移築した国

宝の「唐門」、そして「観音堂」の煤けてはいるが桃山時代の絢爛豪華な作風に見とれる。

観音堂の続きにある秀吉ゆかりの御座船「日本丸」の骨組みを使用している「船廊下」を通り、伏見城の遺構を移したといわれ、多くの文化財がある「都久夫須磨神社」へ。

本殿は、桃山文化の頂点ともいえる最高傑作の建造物で国宝に指定されている。この後、拝殿から湖面に向って建てられた鳥居に向け、願いを込めて”かわらけ投げ”に挑戦する人も。

約一時間の観光で下山。売店で軽い昼食をとり、船で長浜港へと向う。長浜港より、ホテルのバスで総会会場の長浜工場に向った。(磯田 智 記)

第八回 OB会作品展

神奈川県民ホール第一展示室 平成二十年二月二六〜三月二日 出展者二十四名 相川武夫、奥宗治、加藤進、加藤節子、金井ヒロ子、櫻井章博、下瀬英樹、中村俊一、平松久、宮武正浩、青山新太郎、久保秀雄、関守二、鶴岡英雄、永松啓至、西林公助、橋本志真彦、故郷宏、廣江昭道、柳澤知男、山崎勲、山崎公子、山本猛、吉井道郎

絵画部門の出展者が、例年に比べ若干減り心配されましたが、写真部門も含め、参加された皆さんが、いつもより多く力作を出展され、心配は杞憂に終わり、盛況裡に終了しました。



絵画部門では、この会の創始者・平松久さんのヴェネテア風景三点は、明るい色調で作品展の雰囲気盛り上げ、他の常連の皆さんの作品もそれぞれの個性を活かした力作ぞろい。

写真部門では、中心になって活動されている青山新太郎さんが、遠く中国・チベットまで赴かれて撮影された「黄龍二景」をはじめ、各地で撮影された深みのある静謐な作品が多く展示され、来場者の感銘を誘っていました。また、故郷宏さんも、遺作「家路へ」で参加されました。会場中央・台の上には、桜井章博さんの、掘り起こした気の根っ子を上手に加工・彩色した「木人(きびと)」の祭り」が気を吐いていました。

来場者は七日間で六百名弱。皆さんの印象は、作品展も、回を重ねるごとに良くなっていると、なかなか好意的でした。来年も、ほぼ同時期に、第九回作品展を行う予定です。(下瀬英樹 記)

歩こう会

本部第五十八回歩こう会
横浜税関資料展示室見学と
第八回OB会作品展観賞

平成二十年二月二十八日(木) 参加者二十九名 安藤忠雄、井伊國裕、石橋正康、市村義雄、岩田幸三、鹿島静哉、加藤進、亀田実、木原仁博、小島和久、近藤久美、坂本堅一、佐藤勇、塩澤敏行、高橋義衛、谷口勝利、鳥居正義、花田正一郎、原田浩次、松内俊夫、宮下和久、宮武正浩、村上錠作、森邦彦、山上章三郎、山谷章浩、吉井靖、渡部一藏、渡邊良秋



恒例の「OB会作品展」にあわせて歩こう会が行われた。今回は、海上から横浜みなどみらい地区を眺望するというコース、シーバスで横浜駅東口→MM二→赤レンガ倉庫経由で、山下公園まで移動。山下公園では、快晴微風の春の日差しの中を、日頃あまり気付かない記念碑等を巡りながら散策し、横浜税関資料展示室へ向かった。

横浜税関は、横浜港開港と同時に開設され、約百五十年近くの歴史を持つ税関で、資料展示室には、日本の輸出入に関する貴重な資料が展示されている。税関業務の広報ビデオを観た後、密輸品取締りで摘発された麻薬、銃砲、偽ブランド品、ワシントン条約該当品(絶滅危惧種動物の剥製など)、終戦時、満

州引揚者より保管した国内では使用されなかった紙幣など、珍しい展示品を見学した。その後、作品展会場へ向かい、会場入口前で記念撮影、大勢の出演者力作の絵画、写真等を、当番の方の説明を受けながら、約一時間観賞した。

大阪支部第二十八回樹楽会
ゆずの里

平成二十年三月三日(月) 参加者十五名 岡本益弘、奥田公具、押切繁、加藤龍雄、熊倉寛、内藤次生、福井久、平井穰、

山口滋、山口陸雄、鈴木睦子、古川千佳子、松本一子、南博子、吉田康子
恒例の「鳥鍋」を賞味する「ゆずの里・辻の家」行きです。



夜来の雨も上がり京都駅に十五名が集合。山陰線保津峡駅より四キロを登って一時間で到着。

売り物の「ゆず湯」は女性優先、男どもは待ちきれず持ちこみの「絞りたて原酒」でチビチビやっているうちに、鍋は煮えてくるわ、ビールが出てくるわで、結局入浴男は約一名。真昼の宴は延々三時まで。帰路もテクテク歩き会で、四月の「円山公園花見会」を約して京都駅で散会。(山口滋記)

ゴルフ同好会

本都地区第二十九回ゴルフ会
平成二十年五月八日(木)
湘南カントリークラブ

参加者十六名 飯箸弘、亀田実、久保秀雄、小宮康正、坂本堅一、佐藤昌二、篠島秀明、菅澤武彦、高橋義衛、高橋健二、長嶺英則、西野盛雄、西林公助、平盛秀正、森邦彦、後藤勤
新緑が眩しい、爽やかな湘南の風、最高のゴルフ日和のもとで開催。コースは、自然の地形を生かした丘陵コースで、距離もしつかりあり、難易度は高いが、手入れが良好で気分爽快。今回は、新メンバー三名が参加され、四組十六人がプレー。皆さんの力強いスイングに圧倒されたり、反省しきりの人、昔話に花を咲かせる等、和気藹々のうちに無事終了した。



今回は、初出場の平盛さんがダントツで優勝、二位佐藤さん、三位亀田さん。
次回第三十回大会は、十月八日を予定。(後藤勤記)

長浜支部第三十回ゴルフ会
平成二十年五月八日(木)

彦根カントリークラブ
参加者二十二名 笹原榮之助、柴田弥蔵、加藤勲、神部勇作、松宮正之、野田和久、森川栄壽、富岡秀雄、岩根信次、草野康雄、尾本光弘、柴田清廣、中村民夫、磯田智、辻彦太郎、品川泰之、服部重受、川上由明、鈴木健治、北村柗美、野村勝彦、山田孝夫



絶好のゴルフ日和のもと、今回は二十二名の参加で、ダブルペリア方式のハンディキャップ方式で競技。

終了後、社員会館で恒例の表彰式と懇親会を開催。キャディからパットの打ち方が間違っているといわれガタガタになった人、ティーショットを開眼し、次回は大バクするぞとの言葉、一ホール十七打を叩いた人など、話題も豊富で、にぎやかな内に懇親会も終了し、散会した。成績は、次のとおり。

- 優勝 富岡 秀雄
- 二位 笹原榮之助
- 三位 神部 勇作

ベスグロ 神部勇作 八二
ドラコン賞 神部、服部、野田、
川上 (磯田 智 記)

大阪支部第十三回ゴルフ会

平成二十年四月二十五日(金)
神戸ロイヤルパインズゴルフク
ラブ

参加者九名 雨森作仁、宇塚
正、岡本益弘、平井穰、松野
敏、松本弘、山口滋、山本功、
吉田康子
前日の雨も上がり、快晴微風
の絶好の天候の下で開催。



吉田康子嬢？は日頃のレッス
ンが爽り、ロングでパー、シヨ
トでバーディーと自己初の記録
をマークし、二度目の優勝。次
からはHCがぐっと上がるので、
さらなる精進が必要か。

成績は次のとおり。

優勝 吉田康子
準優勝 宇塚 正
第三位 山口 滋
(山口 滋 記)

テニス同好会

本部地区第十四回テニス会

平成二十年五月十三日(火)
高井戸・ダイヤモンドテニスク
ラブ

参加者十五名 金子昇、川上治
夫、木村芳朗、笹本宏昭、菅原
彦一、高橋義衛、塚田正昭、土
川猛弘、鳥居正義、原田浩次
藤原志朗、堀河勲、三浦修、宮
下和久、森俊彦
台風二号の影響による明け方
までの雨で心配されたが、高橋
先輩を含め、十五名の参加を得
て、十二時より、プレーを開始。



各人、クラブや地域での日頃
の練習をもとに、珍プレー、巧
プレーが随所に見られたが、一
方、脚力の衰えからか、ドロツ
プショットやロブが、しばしば
有効なポイントになっていた。
十六時に無事終了、その後、

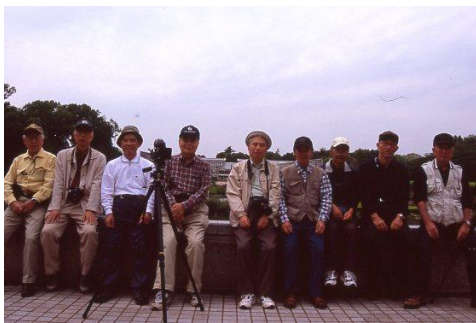
クラブハウス内レストランで、
懇親会を行ない懐古談に花を咲
かせ、十七時三十分解散。次
回は、十月三十一日(火)開催
予定。(塚田正昭 記)

フォトサークル2000

第二十七回撮影会

平成二十年五月九日(金)
東京・調布市神代植物公園
参加者九名 青山新太郎、久保
秀雄、鶴岡英雄、橋本志眞彦、
廣江昭道、柳澤知男、山崎勲、
山本猛、吉井道郎

今回は、薔薇の花を求めて神
代植物公園へ。十時正門前に全
員集合。すでにカメラを持った
同好のグループが、そこに



集まっているのを横目に、私た
ちも早速お昼の時間と集合場所
を決めた後、それぞれ被写体を
求めて撮影開始。
薔薇も芍薬も盛りは過ぎよう

としていたが、それでも対象に
困るようなことはありません。
たまに薄日がさすような明るい
高曇りの空だった。撮影には
ちょうどよかったです。思いますが
昼食を挟んで、午後撮影を
続けましたが、疲れも出て心は
はや第二部へ。
十四時半、本日の撮影を終わり、
場所を吉祥寺へ移して懇親会に。
乾杯して元気を取り戻して、談
論風発はいつもどおり。
(廣江 昭道 記)

OB会事務局から

▽**会員数**(五月三十一日現在)
全会員数 六四七名 本部三六
五名 長浜一八五名 大阪四〇
名 名古屋二六名 九州三一名

▽**訃報**

北川良雄殿 平成二十年一月六
日逝去

中川忠征殿 平成二十年四月五
日逝去

堀 勝殿 平成二十年四月十
三日逝去

小宮繁伸殿 平成二十年四月十
四日逝去

横山幸彦殿 平成二十年四月二
十五日逝去

慎んでお悔やみ申し上げます。

▽**傘寿祝贈呈**

川崎誠吉殿、三原 稔殿、立石
堯殿

▽**役員改選**

神尾 章氏 顧問就任

原田浩次氏 幹事退任

佐藤 勇氏 幹事就任

発行者：三菱樹脂OB会事務局 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-2-2 三菱樹脂ビル
(株)ダイヤサービス東京支店内 担当 矢作 憲三 TEL 03-3279-6472 FAX 03-3279-6750

編集委員
加藤 進 TEL/FAX:03-3709-3610 e-mail ssmkato@u01.gate01.com
磯田 智 TEL/FAX:0749-65-2281 e-mail satoshi.isoda@nifty.com
佐藤 勇 TEL/FAX:03-3756-6264 e-mail isamu310@fiberbit.net
宮下和久 TEL:03-3290-0619 FAX:03-3290-0618 e-mail kazuhisa14@jcom.home.ne.jp
柘植 茂 TEL/FAX:03-5548-3455 e-mail beetsuge@snow.ocn.ne.jp

OB会ホームページのアドレス <http://www.mpi-obkai.org/>